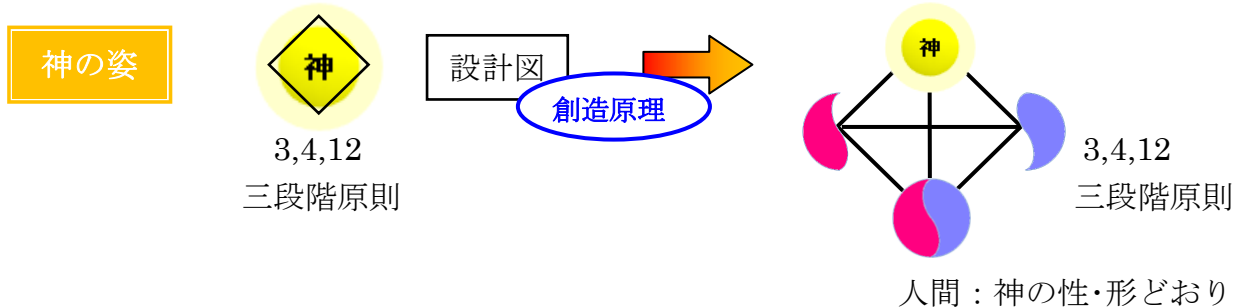


# I. 被造物がいかにすれば、神に一番喜ばれるか？

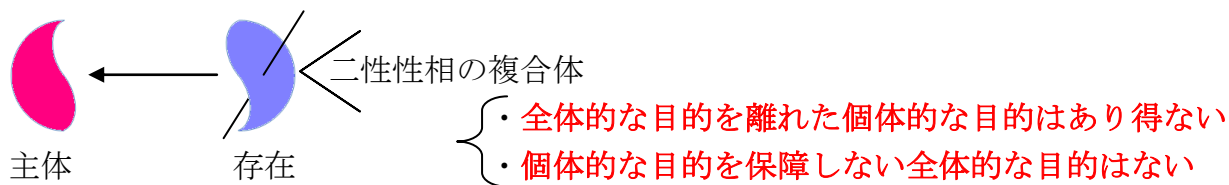
三大祝福のみ言に従って、人間が神の国、すなわち天国をつかって喜ぶとき

⇒ それをご覧になって、一層喜ばれる神

三大祝福：創造の根本基台である四位基台が成就された基盤の上でのみ成就



# II. 二重目的の連体



# III. 喜びはいかに生じるか？

独自の生じるものではない！

無形のものであろうと、実体であらうと、自己の性相と形状のとおり展開された対象があって、それからくる刺激によって自体の性相と形状とを相対的に感ずるとき

# IV. 第一祝福

- ・ 神の宮 — 神と一体 — 神性
- ・ 神の心情を体恤することによって神のみ旨を知り、そのみ旨に従って生活
- ・ 神の喜怒哀楽を直ちにそれ自体のものとして感ずるようになり、神が悲しむ犯罪行為をすることができなくなるので、絶対に墮落することがない。

# V. 天国

- ・ 神の創造目的が完成されたならば、罪の影さえも見えない理想世界が地上に実現  
⇒ 地上天国

- ・ 神の本性相と本形状のとおり、個性を完成した人間一人の容貌に似た世界

人間：心の命令 ⇒ 中枢神経 ⇒ 四肢五体 ⇒ 一つの目的に動じ静ずる

天国：神の命令 ⇒ 真の父母 ⇒ 子女 ⇒ 一つの目的に動じ静ずる